

株式会社ジーンテクノサイエンス

2016年3月期 第3四半期決算について

2016年2月4日

証券コード: 4584

◆ 2015年第3四半期(4-12月期)業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
2014年4-12月期実績(A)	145	△652	△619	△620	△260.19
2015年4-12月期実績(B)	975	△464	△439	△440	△175.86
増減額(B-A)	+830	+188	+180	+180	—

売上高は前年同期比6倍超

- ・ フィルグラスチムバイオシミラーの販売が好調に推移
- ・ 持田製薬(株)との業務提携による契約一時金の受領

より早期の黒字化を目指し、バイオシミラー開発パイプラインにおける販売提携会社との提携を複数同時並行で進めている

◆ 2016年3月期 通期の業績予想(直近に公表している業績予想からの修正なし)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
2016年3月期(A)	1,132	△1,045	△1,019	△1,021	△392.76
2015年3月期実績(B)	321	△824	△790	△792	△331.86
増減額(B-A)	811	△221	△229	△229	—

富士製薬工業及び持田製薬によるフィルグラスチムバイオシミラーの販売が好調

➡ 2016年3月期は前年度の**3.5倍**の売上高を見込む

千寿製薬との眼科治療領域や持田製薬とのがん治療薬領域におけるバイオシミラーの業務提携により開発スピードを加速。これによる開発費の増加。

➡ 事業化がより確実な複数のパイプラインの開発を加速し、より早期の黒字化を目指す

 **ご注意事項**

本資料は投資家の参考に資するため、株式会社ジーンテクノサイエンス(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点で一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

**お問い合わせ先**

管理部

TEL 011-876-9571

ゼロからはじまる、無限の創薬力